



〈8. 9月の生活目標〉
じこくを守ろう!



先人から学ぶ

校長 梶山 崇

2学期が始まりました。子どもたちが登校し、学校に活気がもどってきました。

校庭南側に薪を背負った二宮金次郎の像があります。私自身、二宮金次郎は、「真っ暗な夜にわずかな炎の光で読書をしていた人」とずっとイメージしていました。ある書物で二宮金次郎の生き方にふれ、子どもたちに伝えたいと思い、7月2日（火）の生活朝会で取り上げました。今回はその内容の紹介です。

二宮金次郎は天明7年（1787）7月23日、相模国栢山村（現神奈川県小田原市栢山）の二宮家の長男として生まれました。11歳のとき、病弱な父に代わって堤防工事に出ることになりました。金次郎は幼く仕事がまだまだできなかったため、みんなに申し訳ないと思い、夜なべをしてわらじ（草履）をつくり、大人たちに使ってもらいました。大人たちから今どきめずらしい子だとほめられ、中にはいくらかのお金をくれる者もいました。13歳のとき、母、弟二人の一家4人の生計を立てるため、早朝には山で芝刈り、昼は農作業、夜はなわないやわらじづくりに精を出しました。16歳のとき、二宮家が持っていた田畑を失い、家族が離れ離れになり、新しい生活が始まった金次郎は「身を立てるためには、学問より他にない。」と考え、深夜まで読書をするこもしばしばでした。ある夜遅い時間、金次郎があんどんの明かりで読書をしていると、「学問などいらぬ。明かりに使う油がもったいない。」と伯父にしかられてしまいました。そこで、友人から一握りの菜種をもらい、近くの川の土手に植えました。やがて7升の菜種（アブラナ類の種のこと）が取れ、それを油にかえてもらい夜の読書を続けました。24歳にして失った田畑を買い戻し、二宮家の再興を果たすと、その評判が高まり、37歳のときには、小田原藩主大久保忠真より下野国桜町領（現栃木県真岡市）の復興を依頼されました。金次郎は、その功績が認められ、幕府直属の役人となり、全国610カ所の藩や郡村の復興を成し遂げました。66歳のとき、幕府の領地である日光の立て直しを行いました。

私は子どもたちに先述した金次郎の生涯と以下の3つのことを伝えました。

1 積小為大（せきしょういだい）

毎晩独学で勉強していた金次郎は、明かりの燃料となる油を得るため、荒地に自分でたった一握りの菜種をまき、7升（約12.6L）の菜種油を得た経験や、捨てられていた苗を大事に捨て、自分で荒地を開墾した所に丹精こめて植えて育て、秋には1俵もの粃を収穫した経験から、自然のすばらしさを知るとともに、「小さな努力の積み重ねが大切（積小為大：せきしょういだい）」と学びました。

2 鍬を借りる

家に戻って間もない頃、金次郎には田畑を耕す鍬もありませんでした。そのため隣の家に鍬を借りに行ったところ、いま使っているところでそれが終わったら貸してくれることとなりました。そこで金次郎はただ終わるのを待つのではなく隣の家の仕事を手伝いました。おかげで早く終わった隣の人は喜んで鍬を貸してくれました。

3 ナスで飢饉を予測

1833年の初夏、金次郎はナスを食べたところ、秋ナスの味がして、すでに秋が近いこと（冷害を予想）を悟り、代わりにひえを撒き、冷害を乗り越えました。

金次郎の生き方をとおして、小さなことの積み重ね、お手伝いをするこ、節約することが大切であることを子どもたちに伝えました。子どもたちが朝会の話聞いて、少しでも毎日の過ごし方について考えたり、先人の生き方から学んだことを真似してくれたりしたらうれしいです。

2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

出典：尊徳記念館（神奈川県小田原市栢山町）の資料

学校生活

〈校舎リフレッシュ工事の現状について〉



第2校舎の工事が終わり、2学期から、仮設校舎と第4校舎で学んでいたクラスが新たな校舎で学校生活を過ごすこととなります。

一方で、最後となる第4校舎の工事が始まりました。また、仮設校舎の解体工事も同時進行で行われます。あと少しで完成です。待ち遠しいですね。



※仮設校舎解体工事が始まると、東門の使用が不可となります。9月2日（月）から、東門を利用している児童は、正門を利用することとなります。安全な登下校ができるよう指導や見守りに努めてまいります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

〈体育授業発表会について〉

体育授業発表会を10月2日（水）（1, 3, 5年生）、10月3日（木）（2, 4, 6年生）で実施します。予備日は、10月4日（金）となります。

今年度も仮設校舎解体工事のため、学年ごとに開催となります。その工事の関係で、参観場所や駐輪場などの制限がございます。可能な限り徒歩での御来校をお願いいたします。詳細は、後日配付するお手紙で御確認ください。

〈旗振り当番について〉

日頃より、旗振り当番に御協力いただき、ありがとうございます。本校の学区は幹線道路を有し、交通量が多く、大型車両も多数行き交うなど、危険箇所が多数存在します。保護者の皆様にはお忙しい中ですが、予定表を御確認いただき、旗振り当番への御協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

〈遅刻・早退時の付き添いについて〉

日頃より御協力をお願いしているところですが、2学期の開始に伴い改めてのお願いです。何らかの事情で遅刻早退する場合は、児童の安全確保のため、教室まで保護者の方の付き添いのもと、登下校をお願いいたします。